

「やまなし観光推進計画」（素案）に対する県民意見提出制度による意見とそれに対する県の考え方

No.	該当箇所	意見内容	意見に対する県の考え方
1	P40 観光地経営の高度化	<p>この素案にある各種データやグラフなどが、どうしても「後出し感」がある。この事業者へのDX導入以前に、観光エリアへのDXの導入により、限りなくリアルタイムに近いデータの収集と公開が必要だと思っている。それがなければ、どんな観光施策も効果測定に相応の時間がかかってしまい、結果とした役に立つデータであっても利用されることがない。</p> <p>観光エリアDXの導入でリアルタイムに近い観光産業指標が、いわば自動車のダッシュボードのようにデータが見える化されることを希望します。言うなれば『山梨観光メーター』のようなアプリになるとイメージしてる。</p> <p>DXは日常の業務を楽にするのではなく、むしろそうしたデータ収集を目的としてはどうだろうか。もちろん個人が特定されるような個人情報ではなく、観光客の動向としての数値の取得とメーターによる見える化アプリの開発を提案いたします。</p>	<p>(記述済み)</p> <p>ご意見のとおり認識し、P40「③旅行者動向のマーケティング調査及び分析」において、継続的に市場の情報収集・分析を行い、市町村や観光協会及び各事業者に対して情報提供を行うこととしています。</p> <p>また、P45「2. 統計調査及びマーケティング」においても、適時統計調査を実施するとともに、旅行者の移動ルートなどのビッグデータ等の収集を行うこととしています。</p> <p>なお、見える化アプリの開発につきましては、今後の業務における参考とさせていただきます。</p>
2	地域資源の保全と観光利用の両立	<p>地域に住む多くの方が「生活」という一点で地域を見ています。そこに文化が入ると観光に光があたります。この良さを多くの人に知ってもらい、見てもらい、来てもらう（観光）、短時間でもそこに来ている時は生活していることになります。</p> <p>ここは車で来る場合が100%です。道路幅、駐車場、トイレ、ゴミ処理、最低必要な項目です。</p> <p>観光振興（来てもらう）と地域振興につながるためには、地域に住む人の生活が考え方を変える又は追加することからスタートしなければ成功、推進できないと思います。</p>	<p>(記述済み)</p> <p>ご意見のとおり認識し、P26「3. 山梨の観光のビジョン」において、県民と旅行者との間に、山梨の魅力や価値の共有を促し、満足を超えた感動を生み出すためには、迎える人々も重要な役割を担っているとしています。</p> <p>また、観光の質の向上のためには、旅行者の満足度向上につながる地域一体となったおもてなしなどの受入環境の整備が重要としています。</p> <p>こうした受入環境の整備については、P33「⑥地域一体となったおもてなしの推進」において、県民大会などにより、幅広い世代を対象に地域への誇りと愛着を育む機会を提供することとしております。</p>